



一般社団法人日本補償コンサルタント協会 沖縄支部

事務局報

第175号 令和5年1月

〒900-0021

那覇市泉崎1-13-8

ハーモニー泉崎ビル2階

電話098-869-8570

Fax098-869-4044

1. 支部長 年頭の挨拶



(小濱支部長)

謹んで新年のお喜びを申し上げます。また、会員の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は、支部運営に皆様から格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2020年に発生した新型コロナ感染拡大は、現在も社会活動及び、企業活動等に支障をきたし、県経済にも大きな影響を与えております。

公共事業等において、直轄関連事業は、順調に推移しているものの、地方自治体における社会資本整備事業で、特に新規の道路事業等について、財源が厳しいことから事業計画に遅れが出ており、継続事業も優先度をつけた計画となっております。

このような状況の中、2023年度沖縄振興予算概要においては、沖縄の地理的特性や観光など大きな優位性と潜在力を活かした「強い沖縄経済」を実現し、国家戦略として沖縄振興策を総合的・積極的に推進することで、「自立型社会資本整備」を構築するとしています。一方、2022年度、閣議決定さ

れた補正予算案においては、沖縄における公共事業に係る防災・減災、国土強靱化推進等に120億円余が計上され、沖縄振興公共投資交付金（ハード交付金）事業に係る防災・減災、国土強靱化推進等に29億円余が計上されております。なお、国土強靱化関連で「ハード交付金」を充てるのは初めてとしています

このように沖縄においても社会資本整備事業は、従来の「フロー型」事業から、国土強靱化に向けた防災・減災等に対応する「ストック型」事業への転換が図られております。



今後は、従来業務の深化と国土強靱化事業等に対応するためにDX技術の修得

と新たな人材の「育成・確保」が急務と考えます。

このような環境の変化に対応するには、「イノベーション」による新たな価値創造のモデルの構築も重要と考えます。

これまで活動してきた所有者不明土地について、当支部としては「沖縄所有者不明土地政策連携協議会」の関係機関の一員として、新たな用地業務への取り組み、及び業務拡大の観点からも重要と考えております。また、補償業務のスキルを生かした周辺業務の一環として取り組んできた「固定資産家屋評価補助業務」及び「既存家屋評価のための全棟調査補助業務」についても、引き続き自治体への活動を強化したいと考えております。最後に、昨年は沖縄支部設立30周年の節目の年で記念事業等を計画し

ておりましたが、コロナの影響で延期となりました。今年には是非、実施したいと考えております。

沖縄支部は、1982年4月1日に社団法人日本補償コンサルタント協会九州支部沖縄県部会として協会に参画し、その後、1992年6月1日に社団法人日本補償コンサルタント協会沖縄支部が設立され、現在に至っております。これも偏に関係機関及び会員各位のご指導の賜物と感謝申し上げます。

「今年の干支は「兎年」です。」兎は跳ねる特徴があり経済の好転、向上、また、挑戦の年と言われています。2023年が「飛躍」の年になることを願いたいと思います。

今後とも支部事業へのご協力をお願い申し上げますとともに、会員の皆様のご繁栄をご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

attention

※成果品は会社の顔である！
※多重チェックを忘れずに！

今月の予定

1月10日（火）役員会

16日（月）新春交礼会・理事会（月）東京

24日（火） 独占禁止法研修 自治会館

（社1名必ず参加して下さい）

ひとりごと

皆様明けましておめでとうございます。本年も支部事務局へのご協力よろしくお願いいたします。

今年の展望は如何でしょうか？誰しも新年は新たな希望を持って進んで行くものです、今年は過去3年と違いコロナとともに普段の経済活動に動き廻れると思いますが、国際情勢、国内経済状況等厳しいのも現実です。我々、公共事業の一役を担う補

償コンサルタントは今後の社会の動向を注視しながら新たな業務開拓を探索し成果に結びつける努力する必要があると思います。「座して待たずに動いて攻める」姿勢が問われると思いますが・・・

謹賀新年

今年もよろしくお願ひします
2023年 元旦



支部長の挨拶の中でも触れていますが、昨年、沖縄支部設立30周年を迎え記念事業を計画しておりましたが新型コロナの蔓延で次年度に延期しました。

今年の夏から秋にかけて、関係機関を招待して大々的に記念式典を行いたいと思います。先がみとうせない現状ではありますが支部会員一致団結して対応していきたいと考えています、皆様のご協力をよろしくお願ひします。

今年度も残すところ3ヶ月、事務局は次年度の業務計画、予算書作成等煩雑な業務が待っています。会員の皆様は業務の成果を納めるラストスパートに入りますね、体調を気遣いながら兎のように跳ねてください。

